

30 高危防第 288 号

平成 30 年 8 月 14 日

各市町村長 様

高知県危機管理部長

(公印省略)

## 加速度的に急激に強くなるゲリラ豪雨への基本的な対応について

全国的に局地的大雨や集中豪雨などのいわゆるゲリラ豪雨が多発しています。本県においても、平成 30 年 7 月豪雨において、安芸市や大豊町、宿毛市などでは急激に雨が強く降りはじめ、1 時間雨量が 100mm を超す猛烈な雨が観測され、安芸川堤防の浸食や高知自動車道の橋梁流出、宿毛市市街地の浸水といった大きな被害が生じました。

このような加速度的に急激に強くなるゲリラ豪雨(加速度的なゲリラ豪雨)は、今後もどこでも起こりうると考えられることから、加速度的なゲリラ豪雨への対応が非常に重要です。

このため、県として別紙のとおり加速度的なゲリラ豪雨への今後の基本的な対応をまとめましたので、当面の各市町村の取り組みに生かしていただきますよう、よろしく願いいたします。

## 記

- 1 加速度的なゲリラ豪雨への基本的な対応  
別紙参照
- 2 今後、各市町村の「地域防災計画」や「避難勧告等判断伝達マニュアル」等に反映をお願いいたします。

高知県危機管理部 危機管理・防災課

江渕、久米、紀伊

TEL 088-823-9320 FAX 088-823-9253

# 加速度的に急激に強くなるゲリラ豪雨への基本的な対応

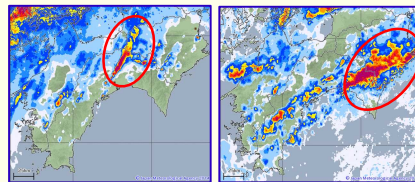
平成30年8月  
高知県危機管理部  
危機管理・防災課

## 趣旨

全国的に局地的大雨や集中豪雨などのいわゆるゲリラ豪雨が多発している。本県においても、平成30年7月豪雨においては、安芸市や大豊町、宿毛市などで急激に雨が強く降りはじめ、1時間雨量が100mmを超える猛烈な雨が観測され、大きな被害が生じた。

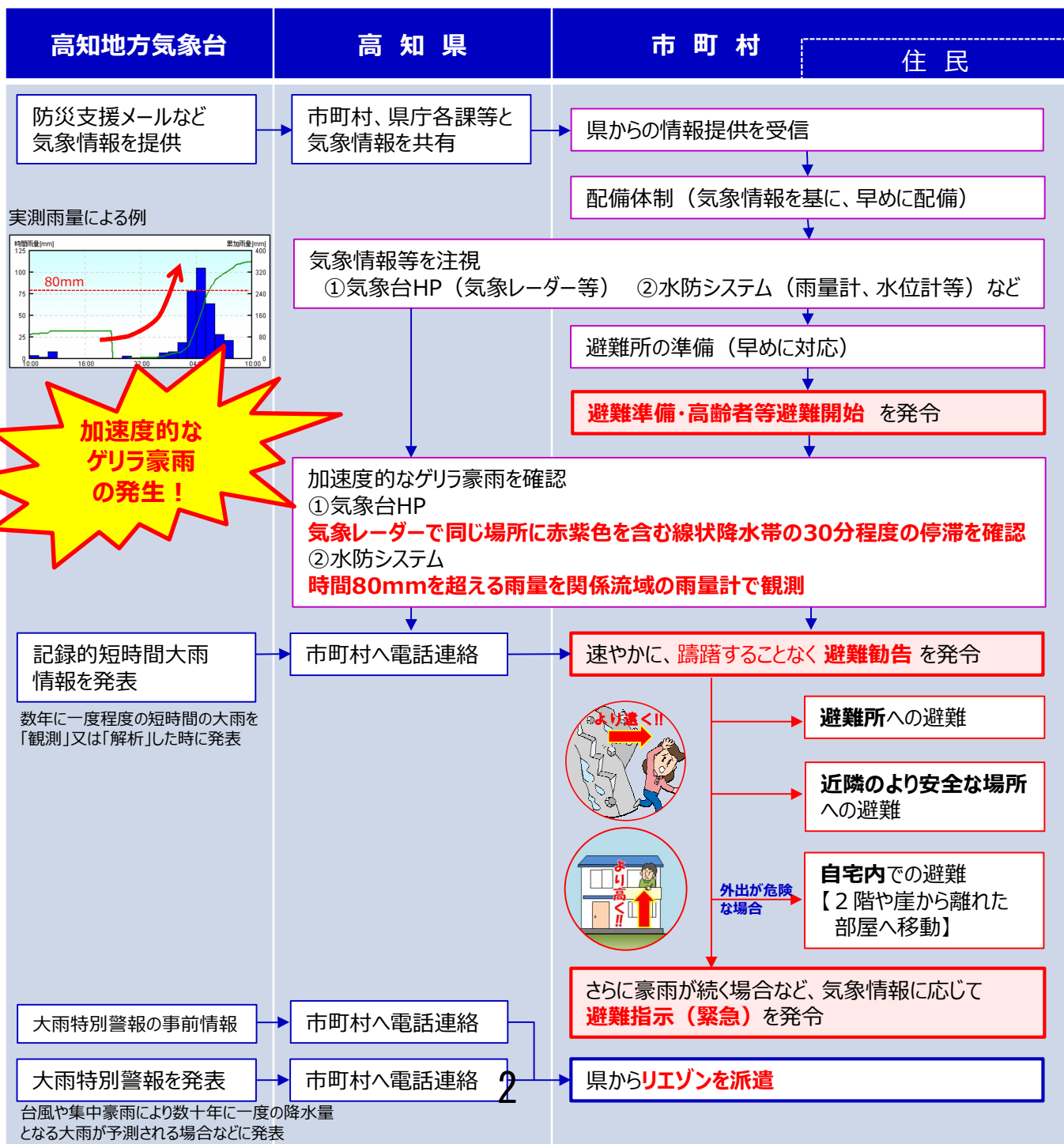
このような加速度的に急激に強くなるゲリラ豪雨（加速度的なゲリラ豪雨\*）は今後も発生することが考えられることから、本県における基本的な対応についてまとめた。

気象レーダー画像（線状降水帯の例）



高知地方気象台提供

※加速度的なゲリラ豪雨：時間雨量80mmを超える猛烈な雨が加速度がかかるように急に降りはじめ、同じような場所で短時間降り続く豪雨。それまでの累計雨量が小さくても、急激に雨量が増えることから、河川や水路が短時間で増水したり、土砂災害が発生する危険性が高まる。（気象用語ではありません）



加速度的な  
ゲリラ豪雨  
の発生！



# 段階的に発表される防災気象情報の活用例

